

令和4年度 農作物病虫害発生予察2月月報

令和5年(2023年)3月6日
山口県病虫害防除所
山口県農林総合技術センター

I 気象概況

アメダス山口県山口地点

月・半旬	気 温 (°C)								
	平均			最高			最低		
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差
2.1	4.7	4.4	0.3	11.8	9.7	2.1	-0.6	0.1	△ 0.7
2.2	6.4	4.8	1.6	11.4	10.2	1.2	2.2	0.3	1.9
2.3	7.3	5.3	2.0	11.7	10.8	0.9	3.4	0.6	2.8
2.4	7.8	5.8	2.0	12.1	11.4	0.7	3.1	0.9	2.2
2.5	5.8	6.5	△ 0.7	10.9	12.1	△ 1.2	1.7	1.5	0.2
2.6	5.8	7.0	△ 1.2	14.5	12.7	1.8	-1.0	2.0	△ 3.0
平均・計	6.3	5.6	0.7	12.1	11.2	0.9	1.5	0.9	0.6
月・半旬	降水量(mm)			日照時間(h)					
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差			
	2.1	0.0	11.6	△ 11.6	22.5	20.2	2.3		
2.2	30.0	11.9	18.1	15.1	21.0	△ 5.9			
2.3	18.5	14.0	4.5	17.0	21.7	△ 4.7			
2.4	38.5	15.9	22.6	20.2	22.5	△ 2.3			
2.5	7.5	17.8	△ 10.3	15.6	23.0	△ 7.4			
2.6	0.0	15.6	△ 15.6	27.6	18.0	9.6			
平均・計	94.5	86.8	7.7	118.0	126.4	△ 8.4			

II 作物の生育状況

イチゴ : 年明け以降、平年に比べて気温は高く、日照時間はやや少ないものの、生育は概ね順調に推移している。かおり野では、2番果房収穫中で昨年より出荷量は増加。現在、3番果房以降が連続して出蓄しており、来月以降も出荷が続く見込み。

タマネギ : 年明け以降、平年に比べ平均気温は高めに推移しており、草丈、生葉数とも平年に比べて上回って生育している。

Ⅲ 病害虫の発生状況

1 果樹

2023年2月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
カンキツ (調査ほ場数:19) かいよう病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率10.5%(平成16.1%)、発病葉率0.2%(平成0.5%)、発病度0.0(平成0.1)、発病葉枝率1.2%(平成0.9%)で平成並みであった。	県内全域	少 111
ミカンハダニ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率10.5%(平成28.3%)、寄生葉率0.4%(平成1.7%)で平成に比べやや少なかった。	県内全域	少 111
果樹全般 カメムシ類	クサギカメムシの隙間トラップによる越冬量調査(10か所)では、1トラップ当たり21.2頭(平成21.7頭)で平成並みであった。	県内全域	—

2 野菜

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
イチゴ (調査ほ場数:20) うどんこ病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率15.0%(平成11.0%)、発病株率3.5%(平成1.3%)、発病葉率0.6%(平成0.5%)、発病果率0.8%(平成0.1%)で平成に比べやや多かった。	県内全域	少 15
灰色かび病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率35.0%(平成12.9%)、発病株率1.5%(平成1.1%)、発病果率0.2%(平成0.3%)で平成に比べ多かった。	県内全域	少 35
菌核病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平成0.5%)、発病株率0%(平成0.0%)で平成並みであった。	—	—
アブラムシ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率20.0%(平成13.5%)、寄生株率2.0%(平成1.1%)で平成に比べやや多かった。 主要種はワタアブラムシであった。	県内全域	少 20
ハダニ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率20.0%(平成46.5%)、寄生株率3.8%(平成15.7%)で平成に比べやや少なかった。 主要種はナミハダニ、カンザワハダニであった。	県内全域	少 20
コナジラミ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率10.0%(平成28.8%)、寄生株率0.7%(平成5.4%)で平成に比べやや少なかった。 主要種はオンシツコナジラミであった。	県内全域	少 10

2023年2月

病虫害名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
イチゴ アザミウマ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率40.0% (平年18.0%)、寄生花率5.9% (平年1.5%) で平年に比べ多かった。主要種はヒラズハナアザミウマであった。 一部ほ場で多発生が見られた。	県内全域	甚 5 多 5 中 10 少 20 計 40
タマネギ (調査ほ場数：28) べと病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年3.6%)、発病株率0% (平年0.4%)、また、1a当たり調査では、越年り病株の発生ほ場率7.1% (平年6.1%)、発病株数0.1 (平年1.5) で平年並みであった。	県内全域	少 1
白色疫病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年3.9%)、発病株率0% (平年0.8%)、また、1a当たり調査では、発生ほ場率0% (平年6.8%)、発病株数0 (平年8.3) で平年並みであった。	—	—
腐敗病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率3.6% (平年1.4%)、発病株率0.1% (平年0.1%)、また、1a当たり調査では、発生ほ場率3.6% (平年2.2%)、発病株数0.0 (平年0.1) で平年に比べやや多かった。	県内全域	少 6
ボトリチス属菌 による葉枯れ症 (白斑葉枯病)	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年0.4%)、発病株率0% (平年0.0%) で平年並みであった。	—	—
軟腐病、さび病、 萎黄病	下旬の巡回調査では、発生は認められず平年並みであった。	—	—

お問い合わせ先

TEL (083)927-0211(代表)

E-mail a172011@pref.yamaguchi.lg.jp